

Unemployment and Workplace Safety
in a Search and Matching Model

要 約

大阪大学 佐々木 勝

本稿では、労働安全衛生に対する投資を決定するモデルから失業率と労働災害発生率の相関関係について考察する。生産性の向上は企業の参入を促し失業率を下げると同時に就業率を引き上げる。それは労働災害発生率の引き上げにも繋がり、労災求職者を増やすことになる。その一方で、生産性の向上によって企業は労働者が傷害に遭って生産をストップすることがないように労働安全衛生向上のための投資を増やす。その結果、労災休職者は減少する。これらの相反する効果が失業率と労働災害発生率の相関関係を決定する。